

こんにちは、阿寒町北新町3丁目の

村上かずしげです

阿寒病院の民営化をストップさせました



この3年間の一番大きな仕事は阿寒病院のことです。2011年、突然、阿寒病院を民営化する動きが表面化、市長も12月議会で民営化すると表明しました。「阿寒病院を考える会」のみなさんと一緒に真冬に反対の署名活動、短期間で有権者の過半数を突破する署名が集まりました。

議会でも毎回のように民営化をやめるように質問、ついに一昨年3月の議会で、民営化の手法に重大な落ち度があることを議会で告発、ついに民営化断念に追い込みました。日本共産党の議員と住民が一緒になって、市政の流れを大きく変えた瞬間でした。



民営化断念を報じる新聞各紙

定例議会で、 毎回質問

初当選以来、すべての定例議会で欠かさず本会議の質問に立っています。阿寒の地域要求もたびたび取り上げてきました。道路や河川、公園など、身近な問題もすぐに役場に掛け合うなど、地域で頼りにされる政治家です。

市議16年 今度は道政へ



石川明美

くしろ民報 2014年号外



TVhが見れる ようになりました

TVhが映らないとの声を聴き早速調査。阿寒町内の中継局の改修ができていないのが原因と分かりました。議会で3度にわたって質問、ついに改修を実現し、今年度中には阿寒湖を除いて全世帯で視聴できるようになります。



阿寒湖の未来をカジノに託せますか!?

カジノは犯罪です

阿寒湖にカジノをつくって観光客を増やすと経済界と市長は言っていますが、ちよつと待ってください。カジノは賭博で、れっきとした犯罪です。国がカジノ解禁の法律をつくったとしても、中身が変わるわけはありません。売春や暴力団の介入、ギャンブル依存症・・・観光どころか、地域全体が大変なことになると思います。

マリモとアイヌ文化、 カジノとは共存できません

阿寒湖の観光の魅力はマリモとアイヌ文化、賭博とは対極にあるものです。カジノを目当てに外国の観光客が大勢やってくるみたいな夢物語を信じることはできません。マリモとアイヌ文化の価値をもつと磨きをかけること、国民の所得を増やして旅行にかける経済的余裕を生み出すこと。ここに政治は真剣に努力すべきです。